

〈景気見通し調査（１２月度）特別調査〉

「２０２２年の景気予想と重点的に 取り組みたいことに関する調査」

【調査結果】

令和３年１２月期

福井商工会議所 中小企業総合支援センター

特別調査「2022年の景気予想と重点的に取り組みたいことについて」

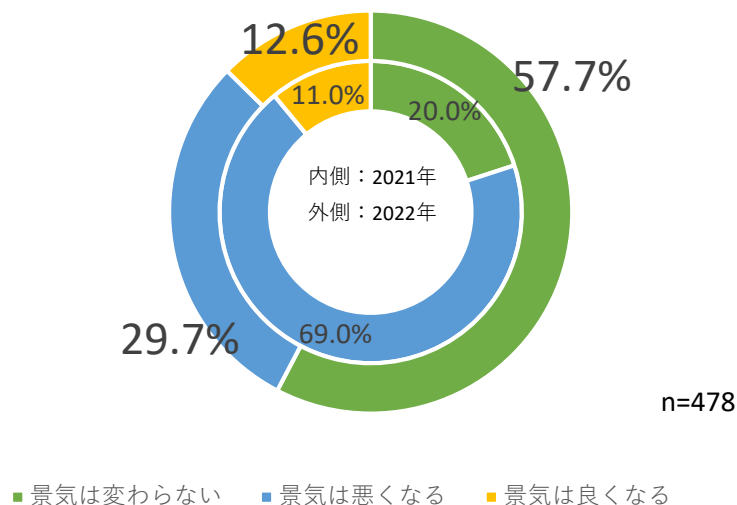
①—2022年の福井県内の景気予想—

【慎重な見方が多く、回復への期待感も】

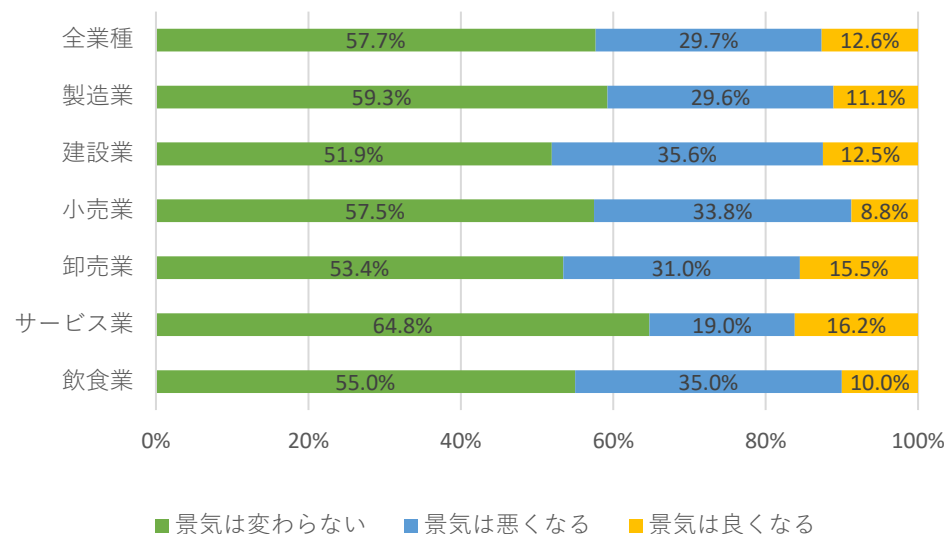
来年2022年の福井県内の景気予想を尋ねたところ、「変わらない」が57.7%で最も多く、次いで「悪くなる」が29.7%で、「良くなる」が12.6%となった。1年前のR2.12月期調査と比較すると、特に「悪くなる」は-39.3ポイントと大幅に減少し、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展や新規感染者数の落ち着きなどからこの1年間で状況は一変したことがわかった。

業種別にみると、「景気は悪くなる」と予想した回答は、R2.12月期調査と比較して、全ての業種で大幅に減少しており、特に飲食業で43.7ポイント、建設業で40.5ポイント、小売業では40.4ポイントと激減した。「景気は変わらない」と予想した回答は全ての業種で半数以上を占め、コロナ禍のさらなる長期化を警戒する慎重な見方が窺えた。

2022年の福井県内の景気予想



2022年の福井県内における景気予想

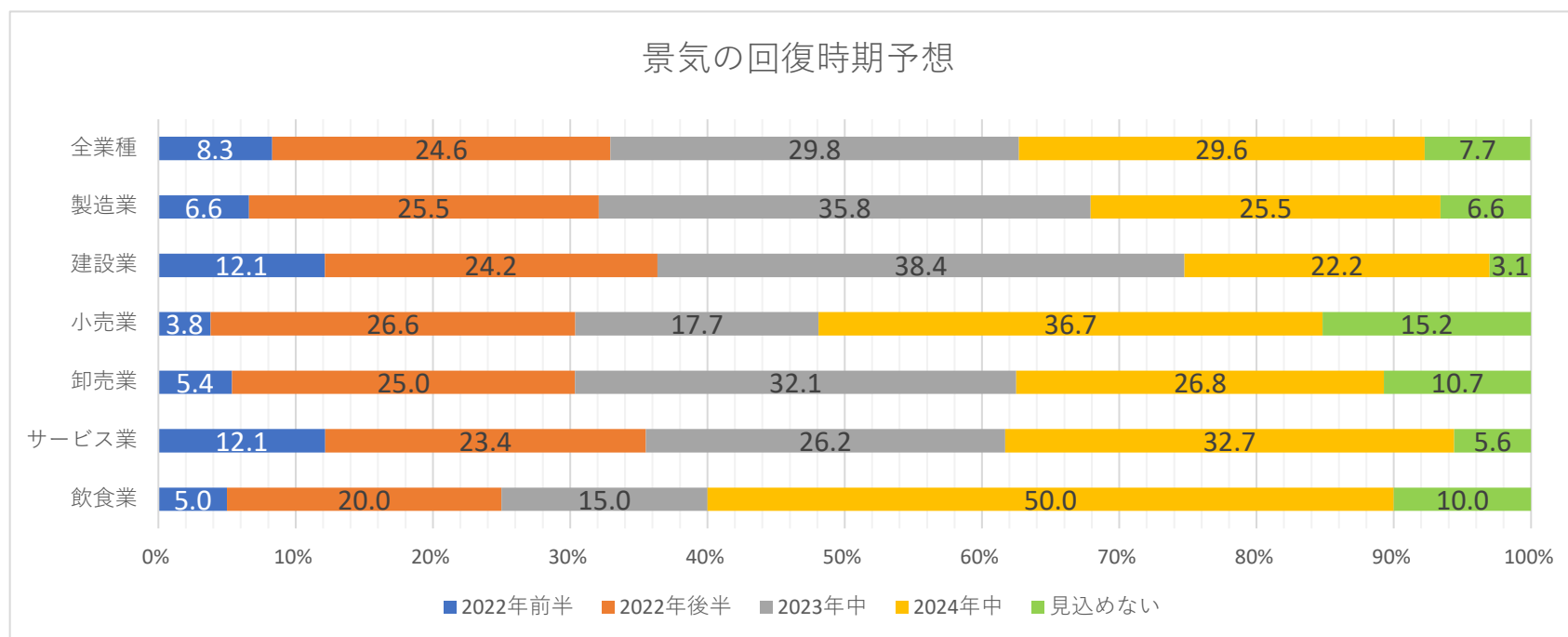


②—業界ごとの景気の回復時期予想—

【2022 年中の回復予想は 3 割強、業種により回復見込みに差】

自社の業界の景況がコロナ前の水準にまで回復する時期を尋ねたところ、「2022 年前半」、「2022 年後半」と来年中に回復すると予想した事業所は合わせて 32.9%と全体の 3 割強に止まった。

回答が多かった時期を業種別にみると、飲食業をのぞくサービス業（35.5%）は「2022 年中」、製造業（35.8%）、建設業（38.4%）、卸売業（32.1%）は「2023 年中」、小売業（36.7%）、飲食業（50.0%）は「2024 年中」となり、業種により回復予想時期に差が見られた。特に、小売業、飲食業は、2024 年春の北陸新幹線県内開業などがもたらす経済効果への期待も感じられた。



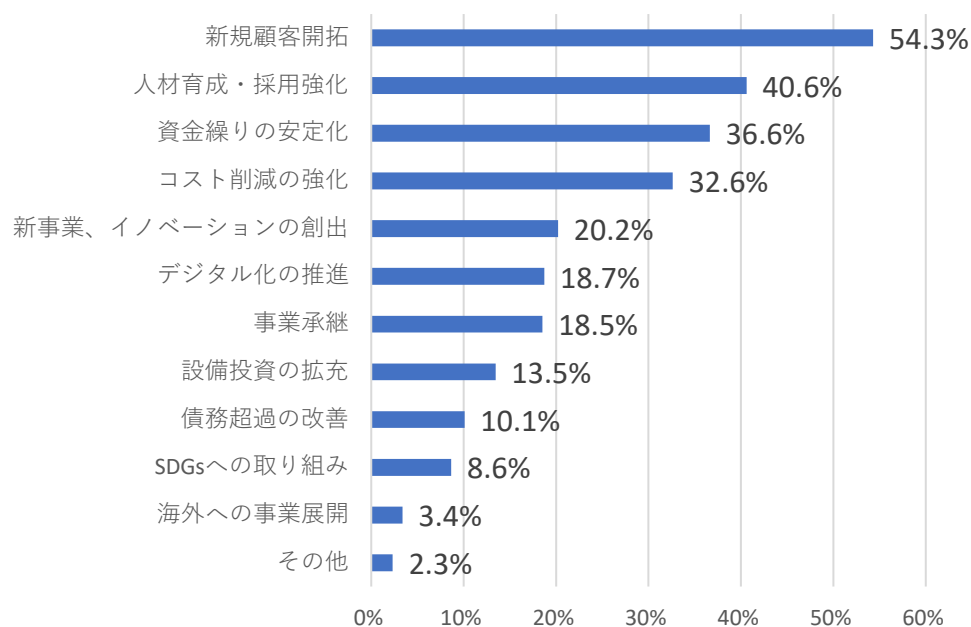
③—2022年に重点的に取り組みたいこと—

【新規顧客開拓の意欲強く、人材育成・採用にも注力】

2022年に重点的に取り組みたいことを尋ねたところ、「新規顧客開拓」が54.3%で最も多く、次いで「人材育成・採用強化」の40.6%となった。これは、経営課題（内的要因）において、「受注・販売力不足」、「人材確保・育成」が多く挙げられたことから、課題解決に取り組みたい姿勢が強く窺える結果となった。また、コロナ禍における借入金の増加や資金繰りの悪化などから「資金繰りの安定化」も取り組みたい内容として多く挙げられた。

業種別にみると「新規顧客開拓」を挙げる回答が、卸売業で69.6%、サービス業で59.0%、小売業で55.7%、製造業で55.0%と多く、労働力が「不足」している建設業では、「人材育成・採用強化」が66.0%で最多となった。また労働力の不足感が30ポイント以上増加していた飲食業でも、「人材育成・採用強化」が50.0%と最多の回答となった。

2022年に重点的に取り組みたいこと



2022年に重点的に取り組みたいこと（業種別）

	新規顧客開拓	人材育成・採用強化	資金繰りの安定化	コスト削減の強化
全業種	54.3%	40.6%	36.6%	32.6%
製造業	55.0%	41.3%	37.6%	29.4%
建設業	41.5%	66.0%	33.0%	33.0%
小売業	55.7%	15.2%	43.0%	38.0%
卸売業	69.6%	26.8%	46.4%	41.1%
サービス業	59.0%	39.0%	26.7%	25.7%
飲食業	45.0%	50.0%	50.0%	40.0%